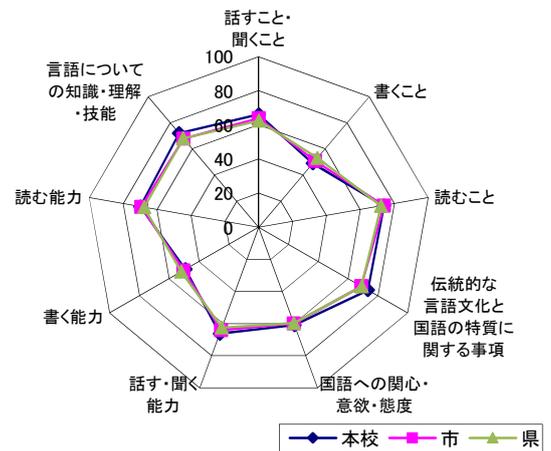


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	66.2	64.0	62.5
	書くこと	49.0	50.9	53.1
	読むこと	73.9	73.9	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.4	68.9	69.1
観点	国語への関心・意欲・態度	60.8	59.9	59.7
	話す・聞く能力	66.2	64.0	62.5
	書く能力	49.1	50.4	52.0
	読む能力	69.9	69.3	67.6
	言語についての知識・理解・技能	72.0	67.9	68.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや高い。</p> <p>○インタビューをする際の質問のねらいは理解しており、相手の話を聞いて、どのような意図で質問するのかを問う問題の平均正答率は65.1%で、県の平均を11.8ポイント上回っている。校外学習でのインタビューの経験が生かされてきた成果であると考えられる。</p> <p>●聞きたいことをもとにインタビューの質問を考える問題では、県の平均をやや上回っているものの平均正答率が26.6%とかなり低い。聞きたいことのリストと話し合いの内容をもとに、質問の条件に合わせて答えることに対応できない児童が多く見られる。</p>	<p>・相手の話の内容がきちんと理解できるよう、教科の学習や朝の会・帰りの会などの時間も活用し、話の聞き方を継続的に指導していく。</p> <p>・国語以外の教科においても、いくつかの資料をもとに話し合う活動を取り入れるなどし、資料の見方に慣れるようにしていく。</p> <p>・話題に沿った意見と理由を考えて話すことができるように、朝の会のスピーチや学級活動などの話し合い活動でも発言の仕方を意識させて取り組ませていく。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや低い。他の領域と比べても低く、無回答率も高い。</p> <p>○理由や事例を挙げて文章を書く問題は、平均正答率56.4%で県の正答率とほぼ同じである。</p> <p>●2段落構成で書く問題の平均正答率は、40.4%と県の平均を6.5ポイント下回っている。</p>	<p>・何をどのように書けばよいか分からない児童が多く見られる。そのため、まずは例文を視写するところから始め、文章の書き方に慣れさせる。</p> <p>・条件に合わせて書く際の型を示し、その型に当てはめて書くことで、求められている形で表現することができるようにする。</p> <p>・日記・感想文・短文作文などに取り組みせ、記述に抵抗がなくなるようにしていく。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや高い。</p> <p>○登場人物の気持ちを読み取る問題では、正答率が79.8%で県より4.4ポイント上回った。</p> <p>●段落の役割を理解して文章の内容を的確に読み取る問題では、県の正答率より4.7ポイント高いものの、54.1%と正答率が低かった。</p>	<p>・現在取り組んでいる読書活動を生かし、物語文だけでなく説明文も読む機会を増やす。また、文章問題に慣れさせるために、プリント学習等で補充し、一人一人が正確な読みができていくかを確認していく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや高い。</p> <p>○漢字の書き取りは、すべて県の平均と比べ平均正答率が高い。</p> <p>●文の構成(主語・述語)の理解については、平均正答率が39.4%と県の平均より13.3ポイント下回っている。また、国語辞典の使い方の正答率も31.2%と県の平均より12.7ポイント低く、言葉の学習に課題が見られる。</p>	<p>・主語・述語については、もう一度確認し、プリント等を定期的に朝の学習でプリント学習に取り組みせたり宿題に出したりして習熟を図る。</p> <p>・日々の学習の中で一つ一つの言葉を丁寧に扱い、難解語句はだけでなく、知っているつもりの言葉であってもその意味をきちんと説明できない言葉は、積極的に国語辞典・漢字辞典を活用してさせるなど、辞書に慣れ親しませる。</p>